

早期開放型メタクリル樹脂系目地材

# ドーロガード目地

## ドーロガード目地とは？

常温重合型メタクリル樹脂系目地材で、その製造が簡便であり、かつ安定した品質で施工できます。また、伸縮性があるため供用中のコンクリート舗装版の目地の伸び縮みに追随します。

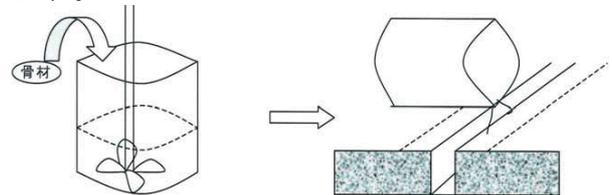
ドーロガード目地は、ドーロガード樹脂とドーロガード骨材と2種類を混合して流し込むだけで簡便に施工できます。

## ドーロガード目地の特徴

ドーロガード目地は、常温重合型メタクリル（MMA）樹脂モルタルで、接着性・耐摩耗性・ひび割れ抵抗性・剥離や耐流動性等の損傷が起き難く、アスファルト系目地材と比較すると耐久性に優れています。このために、充填後の寸法安定性に優れており、アスファルト系目地材では発生しやすい角欠けから、コンクリート端部を保護することができます。

## ドーロガード目地の使用方法

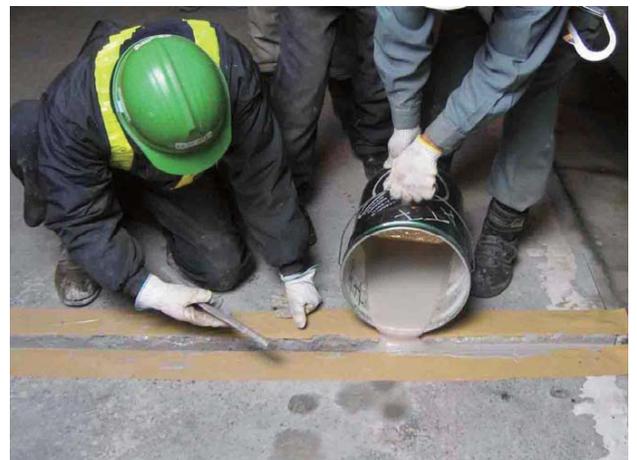
- ①素地調整：付着を良くするためにホコリ等はきれいに取り除き、湿潤状態の時はガスバーナ等で強制乾燥を行いません。
- ②既設版の養生：養生テープで、目地の両脇を養生して、汚れないようにする。
- ③プライマー塗布：接着を完全なものにする場合は、別売のメタクリル樹脂プライマー「パーミタイト」を硬化膜が形成されるまで入念に塗布します。
- ④混練り：ドーロガード目地用樹脂缶に、ドーロガード目地用骨材を全量投入し、ハンドミキサーでよく攪拌し製造します。
- ⑤目地注入：混練りした缶のまま目地に流し込みます。



## ドーロガード目地の施工事例



ドーロガード目地



ドーロガード目地注入状況



東京舗装工業株式会社

製造元：株式会社 菱 晃

## ◆ ドローガード目地の施工手順

